

# 水害経験と備える知恵（日野町木津）

昭和28年台風13号時  
 ・床下浸水になった。  
 ・床上浸水になりそうだったので、畳を上げた。  
 ・一年に1~2回は、床下浸水した。

昭和28年台風13号時  
 ・膝まで浸水した。

・大水の時、日野川が増水すると、野田川から流れてくる水が溜まる場所である。

・日野川の河原にある竹やぶの竹を半分切って折り、木流しをしていた。  
 ・竹を折って、水をはねさせた。

昭和28年台風13号時  
 ・田んぼが浸水した。  
 ・河原と同じように水が流れ、完全な川になっていた。

川戸  
 ・三在川の水を家に引き込んで利用していた。  
 ・三在川が増水すると、川戸から水が入ってきた。  
 ・川戸からの水を止めるために、菅に赤土をつめた。  
 ・各家庭で、赤土を常時準備していた。

昭和28年台風13号時  
 ・床下浸水になった。  
 ・床上浸水になりそうだったので、畳を上げた。  
 ・一年に1~2回は、床下浸水した。

昭和28年決壊場所

法興寺  
 昭和28年台風13号時  
 ・集落で一番高い場所であり、避難所になった。

昭和28年台風13号時  
 ・橋には、柵がなかった。避難する人のために、端にロープを渡し、それをつたって避難した。

法興寺へ続く道  
 ・昭和28年台風13号では、腰まで浸水した。

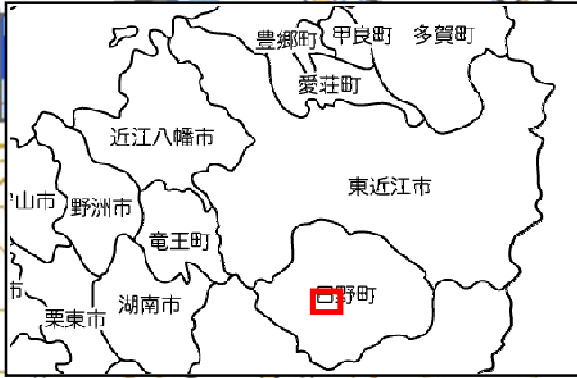
集落の中で極端に低い場所よく浸水していた。

木津橋の当番  
 ・木津橋は木の橋だった。橋の板は、増水すると流されてしまった。  
 ・当番を決めて、橋板の管理をしていた。橋板が流されると、下流まで探しに行った。  
 ・あつという間に増水してしまうので、橋の様子を見にいった大丈夫と思っても、橋板が流されることがあった。

蛇かご  
 ・蛇かごを設置していた。  
 ・左岸の堤防が低い。

左岸は、昔、決壊した。  
 「うちがわら決壊」と書かれた資料がある。

凡例	
●	: これまでに破堤、越水、浸水が発生した場所
■	: 水害に対する知識を確認できる場所
■	: 過去の水害に対する詳細情報
■	: 水害に対する知恵の詳細情報
←	: 過去の水害時のはん溢水の流れ



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 令元情復、第422号) 第三者がさらに複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。